

上杉家の菩提寺

春日山林泉寺を

訪ねて

取材・文：小林桂子 撮影：川瀬洋



山門

明治35年(1902年)、旧侍組竹俣(たけのまた)家の門を移したもので上杉鷹山公もくぐられたという

ご本尊

本堂の釈迦三尊仏。釈迦如来を中尊として、右に普賢菩薩、左に文殊菩薩



お話を伺った林泉寺・第五十五世 菊池伸之ご住職(右)とご協力をいただいた照陽寺の伊藤良久ご住職(左)



長尾景虎(後の上杉謙信)の祖父能景が亡父重景の菩提を弔うため、越後国高田(現、上越市)に建立したのがこのお寺の始まりである。その後、景虎が上杉家を相続し、上杉家の菩提寺となるが、二度にわたる国替えて藩は越後から会津、米沢へと移り、これに伴って林泉寺もまた移転することとなった。「天人」の人氣に沸く上杉景勝の名家臣、直江兼統夫妻の墓所も、ここ林泉寺に祀られている。